

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立第三商業高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、経営企画室長 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務担当・商業科主任）、主任教諭（進路指導担当）、主任教諭（生活指導担当） 計6名
- (4) 協議委員の構成
地域代表（保護司、越中島延寿会長、深川警察署少年係長）、同窓会会長、学校関係（中学校長、小学校長） 計6名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会

第1回 令和7年6月12日（木）

内容：協議委員委嘱、委員紹介、令和6年度学校経営報告、令和7年度学校経営計画、本校の現状と課題等説明、意見聴取

第2回 令和7年11月6日（水）

内容：本校の近況説明、今年度前半の活動報告、学校評価アンケートの内容等検討、意見聴取

第3回 令和8年2月5日（木）

協議委員6名からの意見等聴取

内容：今年度の教育活動等報告、学校評価アンケートの報告、今年度後半の活動報告、次年度に向けた課題の確認

(2) 評価委員会

評価委員会は、全委員が評価委員としての役割に係った。

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」、「学校の意欲」、「学校の実践」等の観点で教育活動の満足度等

(2) アンケート調査の実施時期・対象・回収率

- ① 令和7年 12月 生徒 24名中（87%）
- ② 令和7年 12月 保護者 24名中（26%）
- ③ 令和7年 12月 教職員等 18名中（100%）
- ④ 令和7年 12月 地域 10名中（100%）

(3) 主な評価項目

A 学校教育活動全般 B 学習指導 C 生活指導 D 進路指導 E 特別活動その他
F ライフワークバランスの推進

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・組織的な教育活動に取り組むことができた。生徒の意欲に応じて日商簿記に合格するなど、一定の学習成果をあげることができた。
- ・生徒の学習満足度も高まっており、基礎基本の徹底とともに商業科目（検定資格取得を含む）だけでなく、普通教科についても学習意欲が高まっている。

- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）
- (1) 学校運営
 - ・学校運営連絡協議会との連携を図り、学校運営上の課題解決や見通しや具体策を構築する。
 - ・同協議会における評価を通して、授業や特別活動等改善を図り、魅力ある教育課程を編成する。
 - (2) 学習指導
 - ・生徒の基礎的・基本的な学力を定着させる。
 - ・商業を中心に検定合格を目標にして学習意欲を高め、全員が3級以上を複数種目取得する。
 - ・一人一台端末を活用した学習等指導法を改善して学習効果を一層向上させる授業を実施していく。
 - (3) 生活指導
 - ・家庭と連携した無断欠席や遅刻を防止する指導体制を定着させる。
 - ・生徒情報の共有化を進め、特別な支援や配慮が必要な生徒に対して組織的に対応していく。
 - ・セーフティ教室を通じて安全安心な学校生活の充実を図る。
 - ・交通安全対策として自転車乗車時におけるヘルメットの着用努力義務の推進を図る。
 - (4) 進路指導
 - ・ハローワークと連携して全職員で進路指導を行い、就職希望者100%の内定を目指す。
 - ・進路指導全体計画を推進し、1年次より進路意識を育てる指導を計画的・組織的に実施する。
 - (5) 特別活動その他
 - ・部活動の活性化や生徒会が主体となって運営する学校行事等、充実した学校生活を推進する。
 - ・ホームページの活用方法を見直し、募集活動の活性化を図る。
 - ・給食を通して食生活のマナーや食事を通した人間関係能力を形成する。
- 6 企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果
- ・職員会議及び企画調整会議に協議委員は出席していない。
- 7 その他
- ・アンケート回収率を高めるためにQRコードを活用した収集を実施したことの検証の必要がある。
 - ・本校への理解を高めるために、授業公開の機会を活用して協議会を開催した。